

2025年3月29日

ACL 研究プロジェクト 2024 年度 報告書

井口典夫（総合文化政策学部教授）

1. 研究プロジェクト名：地元メディアを通じた軽井沢の文化的変容の解明・考察

2. 研究の趣旨：宣教師が見出した避暑地・軽井沢は明治以降の西欧人、わが国政財界人の交流の地となり、そこから生まれた様々な生活文化は東京を始め日本全国に広がり、長らく日本一のリゾートとしての評価を得てきた。近年は海外からも数多くの観光客が訪れ、不動産投資も殺到し、東京 23 区以上の地価の上昇が起きている。そうした中、本来の魅力であった自然の中での読書・スポーツ・家族間交流を主とする高原別荘文化は、国内外の商業主義的な文化に飲み込まれる危機にさらされている。その変容ぶりを地元メディアのデータに基づいて整理・解明し、将来に向け何を遺し、どのような変化を受け入れるべきなのかについて考察するのが本研究の趣旨である。

なお上記は ACL 研究プロジェクトの公募対象キーワード「都市・国際、メディア」に呼応しており、また日本一のリゾート・軽井沢の文化的変容は国内外の学究の等しく注目するところでもあることから、ACL の研究高度化に寄与するものと考えられる。

3. 研究の契機と遂行：研究の契機は、2021 年までに約 15 年間（全 220 号）発行されてきた地元著名フリーペーパー「軽井沢ニュース」の過去紙面を入手できそうとの情報を得られたことに遡る。実際に軽井沢ニュースの復刻を準備検討中の事業者を発見し、折衝を重ねたところ、2024 年 10 月、ACL 予算にて過去紙面 10 年分（2012 年 2 月号～2021 年 12 月号＝廃刊号）の pdf データの購入に成功した。さらに現在、類似データを保有する「FM 軽井沢・軽井沢新聞・軽井沢文化協会・信濃毎日新聞社など他メディア」とも接触し、データの使用や購入に関する話し合いを開始、継続している。

以上から、2024 年度は入手データの整理・解読を主とし、過去 10 数年の軽井沢の文化的変容について分析・考察を行うこととした。

4. 問題点と成果の要点：問題となったのは購入した軽井沢ニュースの pdf のバージョンが古く、自動でのテキスト化が困難と判明したことだった。そこで pdf から特徴的な記事を抽出し、そのテキスト化から始めることとした。結果として 2024 年度の成果はテキストデータの取り出しと、そこから得られる軽井沢の文化的変容の部分的な考察にとどまった。なお考察に資するため、2025 年 3 月には軽井沢のメディア識者へのインタビュー調査を行った。以上、2024 年度の研究成果は次頁以降を参照されたい。

5. 今後の課題と展望：データ購入交渉と pdf データの問題に気付くのが遅れ、2024 年度の研究は道半ばとなっている。ただ関連して FM 軽井沢、軽井沢文化協会、信濃毎日新聞など地元メディアへの裾野が広がったことから、できれば 2024～2026 年度の 3 年計画で最後まで研究を続け、諸学会誌への投稿まで持ち込みたいと考えている。

【2024 年度の研究成果】

1. 地元メディアのデータから得た軽井沢の社会・文化の変容（概況）

別荘文化が地域社会に影響を及ぼしてきた大きさの点で、軽井沢は類を見ない町である。明治・大正・昭和に持ち込まれた西欧の生活文化や文学・芸術・スポーツは、今にいたるまで軽井沢の魅力を下支えするコンテンツとして引き継がれている。高原別荘文化を好んだ人たちは、夏場だけの滞在においても社会生活に豊かさを求め、それが軽井沢町に「凝縮した上質な文化や暮らしを育む土壌」を作り上げた。

戦後の高度経済成長期にはアンノン族のような観光客が増え、ブームになったものの俗化したことは否めず、テニスコートやペンションなどの開発が爆発的に進んだ。懐の深い生活文化とはかけ離れた商業的な開発は後の軽井沢に暗雲をもたらした。町のいたるところに廃墟となったホテルや民宿、さらには開発途中でストップした建造物などが点在し、憧れとは程遠い現実が暫く横たわっていた。

その後、日本を襲ったバブルとその崩壊に前後して、信じられないことに軽井沢には民間美術館が相次いで誕生し、町を復活させた。全国の自治体とは明らかに異なる動きである。2011年の千住博美術館に始まり、2021年には藤田嗣治の世界的なコレクションを誇る安東美術館が開館している。世の中の経済的な盛衰の影響は受けつつも、標高1000mの清涼な気候と自然の持つ魅力に加え、新幹線開通後の東京まで70分という時間短縮効果もあり、軽井沢には高原別荘文化が根強く維持され続けている。冒頭に述べた「凝縮した上質な文化や暮らしを育む土壌」の底力のなせる業と言えよう。

2. 根拠となった地元メディアの主要記事（ピックアップ）

上記1（後段）の根拠となったメディアのトピック的な記事を以下に紹介する。なお対象となった地元メディアは軽井沢ニュース、軽井沢新聞、同ヴィネット、時事ドットコムなどとなる。記事の詳細は巻末に【資料編】として25頁にわたり掲載した。

■2010年

○軽井沢町自然保護のための土地利用行為手続きに関する条例施行

軽井沢において開発行為や建築物の建築等の事業を行うときは、諸法令の規定に基づく許認可等の申請に先立ち、軽井沢町の自然保護のための土地利用行為の手続等に関する条例及び同施行規則に基づき、事業内容等を町と事前に協議する必要がある。近年のインバウンド客を主とする観光客対応を見込む宿泊施設（特にホテル）の建設においては、2010年に施行された条例では対応しきれない問題も生じている。

■2011年

○東日本大震災 軽井沢も震度4観測

3月11日に発生した東日本大震災では、地盤が強固で地震による揺れが少ない軽井沢でも震度4の揺れを観測し住民は経験したことのない揺れを感じたと語った。原発事故の影響としては、焚火の自粛や山菜を採取できないという状況が暫く続いた。

○千住博美術館開館

文化の薫り高い軽井沢には、美術館（記念館含む）などの文化施設が20カ所以上存

在する。1985年に開館した軽井沢高原文庫に続き、田崎美術館、絵本の森美術館、脇田美術館、堀辰雄記念館などの民間施設が続々と開館。2000年代になり新しく誕生したのが千住博美術館だ。人気建築家の西沢立衛氏が設計とあって、作家本人の作品への興味に加えて建造物への人気も高い。

■2012年

○しなの鉄道中軽井沢駅舎新築開業

駅舎老朽化と地域活性の期待のもと、中軽井沢の玄関口としての駅舎新築工事が進められた。図書館や多目的室など（2013年完成）を併設した新中軽井沢駅は7月に完成。駅改札は橋上化され、駅前など周辺整備も行われた。

○軽井沢ニューアートミュージアム開館

軽井沢の美術館で初めてとなる現代美術の企画展示を行う美術館として開館。軽井沢駅から旧軽井沢銀座に向かう大通り沿いの立地は観光客へのアプローチも良好で、有名美術家の企画展を企画するなど軽井沢に新しい美術の風が吹いた。

■2013年

○軽井沢風越公園カーリングホール開業

風越公園内の国際射場の跡地に建設され、カーリング専用6シートを備えて開館した。以降国際大会が毎年行われ、軽井沢のカーリングチームは国際的にも活躍中だ。

○人口2万人に

1997年の新幹線開通により東京ー軽井沢間の時間距離は70分となった。首都圏との移動時間の利便が奏功して居住者が緩やかに増え、人口が2万人に達した。

■2014年

○2月に史上まれに見る大雪に見舞われ、国道18号線大渋滞

2月14日の朝から降り出した雪は15日には積雪99センチを記録するまでに降り積もった。国道18号バイパスにはトラックなどが立ち往生し、自衛隊の派遣を要請するに至った。バイパス周辺の地元居住者が身動きできなくなった運転者に、飲食物を手弁当で提供するなど災害対応に追われた。18日になりバイパスは漸く開通した。

■2015年

○旧スイス公使館（深山荘）が町指定文化財に

1936年頃に集合型貸別荘として建築された深山荘は、第二次世界大戦中にスイス公使館の疎開先公館として使用された。後に大学の学生寮として使われたが老朽化が著しく解体の危機にあった。2008年に町所有となり、この年軽井沢町の有形文化財に指定された。

○北陸新幹線金沢延伸

1998年の長野冬季オリンピックを前に開通した長野新幹線が金沢まで延伸し、名称も北陸新幹線と改められた。

■2016年

○軽井沢中学校新校舎使用開始

鉄筋コンクリート3階建の新校舎。太陽光発電設備や教室及び廊下の内装を木質化し、環境に配慮した学校施設（エコスクール）として文部科学省の認定を受けた。

○旧近衛文麿別荘（市村記念館）町指定文化財に

大正時代の代表的建築物。近衛文麿公爵が使用していたこともあり、重要な建造物として町の指定文化財に認定された。

○軽井沢発地市庭グランドオープン

地場野菜や町の加工品・土産物の直売場として開場。別荘民や旅行者の人気スポット。

○G7 交通大臣サミット開催

EU と 7 か国の大臣が集い、自動車及び道路に関する最新技術の開発・普及と、交通インフラ整備と老朽化への対応のための基本的戦略を議論した。

■2017 年

○八田別荘町指定文化財に

1893 年に八田裕二郎氏が建立した軽井沢における日本人初の別荘。町指定文化財に指定される。

■2018 年

○追分節（追分馬子唄・信濃追分）町選択無形文化財に

江戸時代に軽井沢宿や追分宿、杓掛宿の馬子たちが仕事唄として歌っていた追分節が無形文化財に指定。現在も馬子唄道中は継承されている。

○聖パウロカトリック教会を町指定文化財に

アントニン・レーモンドの設計。多くの文豪たちが作品の中で描いてきた教会。

■2019 年

○G20 関係閣僚会合開催

環境省と経済産業省との共催で「G20 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」を軽井沢プリンスホテルにて開催。

○ウィスラー姉妹都市提携

アレキサンダー・クラフト・ショーが結んだ縁で姉妹都市となったカナダのウィスラーと軽井沢。姉妹都市 20 周年（2019）を迎えたこの年、「イヌクシュク」の記念碑を町役場前の湯川ふるさと公園上流地区に設置。

■2020 年

○新型コロナ感染症流行

コロナのリモートワークが後押しし、首都圏から若い世帯の移住が促進された。

○軽井沢風越学園開校

「すべての子どもの自由に生きるための力と、自由を相互に承認する感度を育む」の理念の元、幼稚園から中学校までの一貫校を設立。通学圏内に家があることが必須だったため、子どもを持つ世帯が軽井沢に居を構えるようになった。

■2021 年

○新庁舎建設・周辺事業基本方針策定

庁舎と公民館を一体として整備新築する方向で方針が策定された。総事業費およそ 120 億円と発表された。

○「軽井沢」名称の適切使用の表明

「軽井沢のブランド価値を維持するために名称の適切な使用についてお願い」という文書を、軽井沢町、軽井沢商工会、軽井沢観光協会、軽井沢旅館組合が連名で出した。

■2022年

○ホテルインディゴ軽井沢 オープン

南軽井沢交差点角地に、ライフスタイルブティックホテルと銘打ったインディゴがオープン。2019年以降、土地価格が高騰している軽井沢にホテル、マンションの建設ラッシュ到来。

■2023年

○カルチャーコンビニエンスクラブ運営の Karuizawa Commongrounds オープン

蔦屋書店を核にインターナショナルプリスクールやテナント棟が混在する複合施設。

○ふふ軽井沢（ホテル）相次いで開業

カトープレジャーグループが運営する高級ホテル。

■2024年

○万平ホテル リニューアルオープン

創業130周年を機に大規模改修をした。

○西武グループ、野村不動産が千ヶ滝地区共同開発の基本協定を締結

千ヶ滝地区の広大な敷地（22ha）を大規模開発すると発表した。

3. 別荘地から二拠点居住や移住先としての軽井沢へ（文化的変容の兆し）

コロナが働き方に変化をもたらした2020年、働き方の変化と幼・小・中の生徒を対象にした私立学校が開校したことも相まって、生活拠点を軽井沢に移す子育て世代が急増した。町に活気はもたらされたが、一方で進みすぎる開発への懸念はぬぐえない。交通渋滞に始まり、高原別荘文化の暗黙のルールを無視した別荘開発も散見される。人の往来がもたらす文化や時代の流れは、守るべきものと変わっていく要素のバランスが求められるところだ。

そうした視点で軽井沢の10数年を見たとき、改めて「変わる」と「守る」ことが拮抗しているように感じる。これは、先に軽井沢に住み始めた人々と新たな住民との相容れなさにも通じる。清涼な気候が魅力だった軽井沢も、温暖化により暑い夏がもたらされ、オーバーツーリズムの常態化で万年渋滞が生じる状況も否めず、維持すべき高原別荘文化への影響が懸念される。今こそ軽井沢の「凝縮した上質な文化や暮らしを育む土壌」の重要性を再確認しなければならないように思う。

謝辞：上記をまとめるにあたり、2025年3月10～12日に実施した地元メディア識者（軽井沢ニュース編集長・嶋崎由紀子氏／FM軽井沢MC・清水とも子氏）へのインタビューが役に立った。ここに記してお礼申し上げたい。

【資料編】

地元メディア全体のデータ集：2009～2021年の夏季を中心に収集

(軽井沢ニュース、軽井沢新聞、同ヴィネット、時事ドットコム)

芸術(美術、音楽)と文化トレンド(別荘、外国人、観光、飲食、商業、スポーツ)

といったジャンルが中心/イベント紹介や広告の変遷も重要

◎ データソース(収集メディア)

1. 軽井沢ニュース(PDFデータ)
2. 軽井沢新聞 <https://www.karuizawa.co.jp/newspaper/topics/>
3. 軽井沢ヴィネット オンライン <https://www.karuizawa.co.jp/topics/>
4. ～年は、こんな年だった。時事ドットコム

■2009年

2009年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 民主圧勝、政権交代。社民・国民新と連立
- ② 新型インフルの感染広がる。全国で猛威
- ③ 裁判員裁判始まる
- ④ 世界同時不況で電機、自動車など巨額赤字。人員削減相次ぐ
- ⑤ GDP、35年ぶり2けた減

⇒2009年の芸術、文化トレンドのトピックス

- ① 軽井沢大賀ホール、あの辻井伸行さんが8月25日(火)に登場(軽井沢ニュース)
- ② 7月23日、「チサン イン 軽井沢」がオープニングセレモニー&施設を公開(軽井沢ニュース)
- ③ 7月30日、中国青少年代表団「大学生分団50名」が町役場を表敬訪問(軽井沢ニュース)
- ④ 軽井沢プリンスホテルエリア内に手ぶらOK—とっておきの自然を満喫する「軽井沢アクティビティ」(軽井沢ニュース)
- ⑤ 8月1日～31日、「どくとるマンボウ昆虫店」～北杜夫さんと虫と軽井沢の自然
- ⑥ 8月22日、「ポール・スミザーのガーデンレクチャー in 軽井沢」～選ぶことから植えるまで～(軽井沢ニュース)
- ⑦ 8月27日、「街と森の音楽祭」 浅間学園に音楽の贈り物。マリンバ奏者の小森邦彦さん、フルート奏者の井原和子さんが町内の養護施設、浅間学園を訪問した。(軽井沢ヴィネット オンライン)
- ⑧ 8月24日、天皇、皇后両陛下は静養のため新幹線で軽井沢町に入られた。家、辻邦生の没後10年の記念展示を行っている軽井沢高原文庫を訪問された。(軽井沢ヴィネット オンライン)
- ⑨ 8月14日、軽井沢町が8月8日に開いた軽井沢国際親善交歓会に、同町と姉妹都

市提携を結んで 10 年になる、カナダ西部ブリティッシュコロンビア州ウィスラー市の市長が出席した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑩ 8月5日、星野リゾートは昨年に引き続き、日本の若きパティシエの発掘、育成を目的とした「第2回スイーツ博コンクール」をホテルブレストンコートで開いた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2010年

2010年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 尖閣沖で中国漁船衝突。映像がネット流出
- ② 大阪地検で証拠改ざん。検事、元特捜部長ら逮捕
- ③ 鳩山退陣、菅内閣が発足。参院選で民主大敗
- ④ 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶり帰還
- ⑤ 野球賭博で大関琴光喜ら解雇、力士多数が謹慎休場
- ⑥ 円高で6年半ぶり市場介入。ゼロ金利復活
- ⑦ 記録的な猛暑、熱中症による死者多数

⇒2010年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 環境にやさしい最新エコ・モビリティを、いち早く体験試乗！ 軽井沢商工会と、観光協会および軽井沢環境ネットワークを主体とする、軽井沢エコ・モビリティタウンタウン実証実験実行委員会は、町の後援のもとで、7月17日から9月25日までの71日間、トヨタ自動車とヤマハ発動機の協賛を得て、プリウス・プラグイン・ハイブリッド(PHV)と電動二輪車EC-03によるエコ・モビリティの体験試乗を、観光客には時間単位、定住・別荘利用者には一週間のモニター貸与によって実施する。(軽井沢ニュース)

② 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

a. 8月13日、14日、15日。「軽井沢の森 音楽祭 2020」後藤泉ピアノ、サイタル：ショパン名曲集。

b. 8月26日、

軽井沢国際音楽 2010～シューマン誕生 200年記念～「ジェラルール・プレーン ヴァイオリン・リサイタル。【演奏】ジェラルール・プレーン (ヴァイオリン)、川島余里 (ピアノ)

c. 9月18、19日、～ショパン誕生 200年記念～「第6回ショパン国際フェスティバル・in Japan」～三大ピアニスト、ピアニスト名曲ショパン～、【演奏】横山幸雄、青柳晋、近藤嘉宏、加羽沢美濃

③ 8月1日～31日、ヘルマン・ヘッセ昆虫展「少年の日の思い出」、堀辰山荘 (軽井沢ニュース)

④ 7月24日～9月6日、「伝来の茶道具」特別企画の見学と食事「茶懐石を楽しむ」田中本家博物館 (軽井沢ニュース)

⑤ 7月17日、2010年度 軽井沢・早稲田大学交流事業「おもしろ科学実験教室」が行われました。(軽井沢ニュース)

⑥ 8月20日、作家の山口路子さんが語る「軽井沢アート塾」。テーマは「ピカソと

7人の女～画家とモデルの情熱恋愛」。多数の現代アートを所蔵する軽井沢現代美術館で、官能的なトークサロンを体験してください。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑦ 8月2日、「第11回 軽井沢ショー祭」開催。軽井沢町出身で「ニーニョ・リカルド国際フラメンコギター・コンクール」国際部門優勝者、沖仁(おき じん)さんが自作の曲やメドレーを演奏。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2011年

2011年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 東日本大震災、原発事故で甚大被害
- ② 原発停止相次ぎ、電力不足が深刻化
- ③ なでしこジャパン、サッカーW杯優勝
- ④ 菅首相が条件付き退陣表明、3カ月続投。野田政権発足
- ⑤ 歴史的円高、一時1ドル=75円32銭

⇒2011年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 軽井沢町にインターナショナルスクール、2013年9月開校を目指して準備進む。国際親善文化観光都市・軽井沢町内に、アジア全域からの留学生を対象に、21世紀を担う人材を育成する全寮制のインターナショナルスクールを設立する計画が、かなり具体的な段階まで進んでいる。国内初の「全寮制」となる「インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢」、略してISAK(アイザック)は日本の高校一年から三年に相当する生徒を対象に、英語で授業。一学年50人程度、授業は一クラス10から18人規模で行い、生徒の3、4割は留学生が占める模様で、もちろん日本人や国内在住の外国人も入学可能だ。卒業時に国際バカロレア資格を取得すれば、世界各国の大学の受験や入学が認められる。(軽井沢ニュース)

② 8月1日、開局十周年を迎えたFM軽井沢新体制に。軽井沢で唯一の放送メディアに注目。(軽井沢ニュース)

③ メルシヤン軽井沢美術館が11月閉館へ。薔薇と光のフランス人画家「アンリ・ル・シダネル 小さな幸せ」展が最後に。(軽井沢ニュース)

④ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール(軽井沢ニュース)

a. 軽井沢大賀ホール主催。名誉館長、大賀典雄追悼演奏会。ダニエル・ハーディング指揮。ベートーヴェン、交響曲第九(合唱付)

b. 軽井沢国際音楽祭2011 オープニング・ガラ・コンサート。フランス音楽のエスプリ溢れる華やかな音楽祭の幕開け。

c. 8月25日、東日本大震災者支援、外山啓介ピアノ・リサイタル。プログラムはオールベートーベン。

d. 8月27日、さわやか軽井沢の風に乗せて～高広祐子フルートコンサート in 軽井沢 vol.1

⑤ 9月5日、渡辺貞夫コンサート in 軽井沢(軽井沢ニュース)

⑥ 9月25日、前川清、軽井沢音楽会(軽井沢ニュース)

⑦ 三船敏郎と昭和映画を楽しむ。「軽井沢名画サロン三の日会」。トークと昭和映画の二本立て(軽井沢ニュース)

⑧ 8月26日、社団法人・青少年音楽協会は南ヶ丘に所有する吉村三氏設計の軽井沢ハーモニーハウスを開放し、15:00からサイガバレエのダンサーたちが椅子を使ったダンスを披露した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑨ 8月23日、国連が定めた「国際森林年」に合わせ、町民らで作る実行委員会(実行委員長:土屋芳春軽井沢観光協会会長)は、「軽井沢国際森林年記念シンポジウム」を中央公民館で開き、町民ら約150人が参した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑩ 8月17日、軽井沢町と財団法人軽井沢大賀ホールは、元ソニー社長で4月に81歳で亡くなった大賀典雄さんの追悼コンサートを同ホールで開いた。大賀さんと親交があったロンドン交響楽団首席客演指揮者のダニエル・ハーディングさんが指揮し、大賀さんが会長・理事長を務めた東京フィルハーモニー交響楽団が、ベートーヴェンの交響曲第9番などを演奏した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑪ 8月1日~4日、第6回「軽井沢スイーツ博」が星野リゾートで開催された。今回はパリの三ツ星レストラン「アストランス」のシェフ、パスカル・バルボ氏とホテルブレストンコートのレストラン長浜田統之氏がコラボレーションを行い、信州の食材でスイーツのデザートコースを創った。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2012年

2012年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 第46回衆院選で自公圧勝、政権奪還
- ② 尖閣・竹島で中国・韓国との関係悪化
- ③ 原発、一時稼働ゼロ
- ④ 消費増税法が成立
- ⑤ 山中教授にノーベル医学生理学賞

⇒2012年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 2014年9月開校、インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 ISAK (アイザック) 軽井沢町内で建設の準備を進めてきた、アジア全域からの留学生を対象に、全寮制で英語による授業を行ない、21世紀を担う人材を育成しようとする「インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢」略して ISAK (アイザック) が、2017年9月に開校する。設立準備財団(東京都港区南麻布)の小林りん代表理事は、7月22日開催中の同校サマースクール会場で、ニュース社の取材に対し、一年に及ぶ採用活動の結果、5月下旬に初代校長にロ德里ック・ジェミソン氏が決定したと発表した。(軽井沢ニュース)

② 8月1日。軽井沢中学校柔道部が全国大会に出場決定。藤巻町長を表敬訪問して、絶対勝ちますと元気に挨拶。(軽井沢ニュース)

② 8月26日。軽井沢プリンスホテル。特別版、軽井沢ワイン倶楽部。軽井沢プリンスホテルが誇る6名のソムリエがワインの楽しさをお伝えする「ディナータイム軽井沢ワイン倶楽部」、四季折々の味覚とともに、テーマに沿ったソムリエ推奨のワインをお楽しみください。特別版テーマ「ブルゴーニュの地方料理」(軽井沢ニュース)

③ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

a. 8月18日、アルプスに響くスイスヨーデルと民族音楽の調べ。スイスアンサンブル

ル〜エンツィアン in 軽井沢。エンツィアンはスイスヨーデルをはじめ、アルプス地方の民族音楽を演奏する仲間たち。3年に一度、スイス連邦ヨーデルフェストにおいて、日本人として初めて二大会連続の最高クラスの評価を受けた伊藤啓子のヨーデルを中心に、アルプホルン。カウベル、ターラーシュヴィンゲンなど珍しい民俗音楽が花を添えて、皆様をスイス音楽の世界に。

b. 8月24日、軽井沢国際音楽祭 2012。室内楽コンサート〜軽井沢のシューベルアーデ。今年11年目を迎える軽井沢国際音楽祭。国内外の第一線で活躍する音楽家仲間が集い、緑あふれる自然の風の中で生み出す優しい音楽。

c. 8月25日、軽井沢国際音楽祭 2012。1コインコンサート〜ドビュッシーと私〜生誕150年ドビュッシーをテーマに1ステージ20分500円のコンサート。

d. 8月26日、軽井沢国際音楽祭 2012。フェスティバル・オーケストラ・コンサート。音楽祭アーティスト、講習会受講生（未来の演奏家）、首都圏のアマチュアオーケストラプレイヤーが一堂に会する特別編成オーケストラの演奏。

e. 9月15日、16日、第8回ショパン国際フェスティバル in ジャパン。音楽案内人、加羽沢美濃。三大ピアニスト名曲ショパン。イリーナ・メジューエワと新進気鋭のピアニストたち

④ 9月1日から10月31日。森林セラピスト「軽井沢、森の時間」。ネイチャーでなくナチュラルな森林散歩。主催：NPO法人 森林セラピーソサエティ。（軽井沢ニュース）

⑤ 8月27日、軽井沢高原文庫は、人劇団「樹座」に出演した、作家の北杜夫さんのエピソードを関係者が語り合う、高原の文学サロン「劇団樹座の名優、北杜夫」を開いた。「樹座」は作家の遠藤周作さんが1968年に立ち上げた劇団で、作家や編集者、公募で集めた一般人など演劇の好きの人達で構成されている。この日は、北杜夫夫人ら顕談「劇団座長の名優、北杜夫」が語られた。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑥ 8月16日、軽井沢から21世紀の愛の歌を発信する「軽井沢ラヴソング・アワード2013」の楽曲公募が9月1日より始まる。今回のテーマは「Go Excite... 失うものはなにもない。」に決まった。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑦ 8月7日〜、ギャラリー PAST RAYS は、ハワイ在住のアメリカ人写真家トム・ハール氏の写真展「夢の風景 軽井沢」を、軽井沢観光会館2階にて8月7日（火）から開催した。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑧ 8月8日、軽井沢町のご当地キャラクター「Ruiza ちゃん」が8月8日、初登庁し藤巻進町長を訪問した。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑨ 8月1日、軽井沢を築いた先人たちを顕彰する第13回『軽井沢ショー祭』がショー記念礼拝堂の前庭で開催された。（軽井沢ヴィネット オンライン）

■2013年

2013年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① アベノミクス始動、異次元緩和で円安・株高
- ② 特定秘密保護法が成立
- ③ 2020年夏季五輪・パラリンピック、東京開催決定

④ 参院選で自民圧勝、「ねじれ」解消

⑤ 消費増税、14年4月実施を決定

⇒2013年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 2013年7月に竣工式&内覧会、インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 ISAK (アイザック) 2014年秋に、日本初の全寮制で、英語による授業を行ない、次の世代を担う人材を育成しようとする国際高校を開講する予定の公益財団法人インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢設立準備財団(東京都港区)は校舎と1棟目の寮、および体育館の完成を記念して、7月13日、およそ150人の関係者(ファウンダー、支援者、教育関係者、軽井沢町長ほか地元関係者)を迎えて竣工式と内覧会を開催した。(軽井沢ニュース)

② 7月21日～30日、ISAK (アイザック) サマースクール2013の第1回目が開校し、引き続き2回目が、8月2日からスタートし12日に終わる。1回目の参加生徒数は47名で、チリ、フィジー、インド2、インドネシア、日本25、香港、パレスチナ、フィリピン4、シンガポール、台湾2、タジキスタン、アメリカ3、ベトナム四の計13カ国から男子23名、女子24名の生徒が軽井沢に集合。生徒たちはもちろんのこと、リーダーシップと音楽の先生の真剣な授業式ぶりが非常に印象に残った。(軽井沢ニュース)

③ 7月末、軽井沢プリンスホテルは、「貸別荘機能」とフラッグシップブランド「ザ・プリンス」レベルのホテルサービスを融合した新宿泊施設を、2014年夏に開業と発表した。また、軽井沢セブン72ゴルフは、約13億8000万円を投資して、東コースに新たなクラブハウスを、2017年夏にオープンさせる予定と発表した。(軽井沢ニュース)

④ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

a. 8月12日、中村紘子、ピアノリサイタル、「夏にきらめく、音の光」

b. 8月14日、軽井沢国際音楽祭2013オープニングコンサート。N響メンバーによる「プラスの饗宴」8月15日、室内楽コンサート、「パリ・復興」。8月17日、フェスティバル・オーケストラコンサート、音楽祭参加アーティスト、講習会受講生、首都圏アマチュア演奏者による特別編成オーケストラ演奏。8月18日、歌手のいないオペラ・コンサート

c. 8月20日、軽井沢芸術祭。～帰ってきた思い出の曲たち～今、この名曲たちを聞いておきたい夏の軽井沢で～。

8月21日藤田美奈子、望月哲也デュエットコンサート、涙する大人の人のためのオペラ。

d. 8月25日菊池洋子ピアノリサイタル、モーツァルト国際コンクールの覇者、今、日本を代表するピアニスト。曲：モーツァルト「ピアノソナタ・トルコ行進曲付き」。

e. 8月28日、オペラ歌手の休日。大山大輔バリトンリサイタル、オペラ界の若手注目度ナンバーワン。

f. 8月25、31日。群馬交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏アンサンブル。音楽芸術不滅の遺産～ ベートーベン弦楽四重奏の世界。

⑤ 中軽井沢図書館には、魅力は可能性がいっぱい。今秋にも10万人達成へ。(軽井沢ニュース)

⑥ 8月2日～19日、安部朱美 創作人形展。軽井沢観光会館 2階展示室、『24の瞳と昭和の家族～きずな』。(軽井沢ニュース)

⑦ 8月29日、軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会は、ソチ冬季五輪世界最終予選の「日本代表決定戦」に出場する、男子「SC 軽井沢クラブ」、女子「中部電力カーリング部」の壮行会を軽井沢アイスパークで開いた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑧ 9月6日、大賀ホールで創作フラメンコ「TAKETORI」が上演される。原作は「竹取物語」で、日本の物語をスペインの民族舞踊フラメンコによって表現する。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑨ 8月27日～29日、ドキュメンタリー専門番組を手がけるディスカバリー・ジャパンが、映像製作とスチール写真撮影の技術を学生に伝えるワークショップを、北軽井沢のキャンプ場で行った。学生は3日間の合宿で、プロのカメラマンから番組を作る心構えや撮影のポイントを学び、自身の作品を完成させた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑩ 9月7日、軽井沢町図書館で文化講座を開催。内容は、スウェーデンの現状に関する講演、講師は3年間ジェトロ・ストックホルム事務所長を務めた上岡美保子さんで、スウェーデンの高福祉・高負担の仕組みや男女平等社会、子育てについて話した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑪ 8月23日～25日、町内4館、朝ミュージアムを始める。軽井沢町内4館(軽井沢高原文庫、軽井沢絵本の森美術館、エルツおもちゃ博物館、脇田美術館)は、通常より早く朝7時半より開館する「朝ミュージアム」を始めた。「爽やかな朝の時間帯に、アートに親しんでもらおう」と企画したもの。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑫ 8月27日、ピアニスト・清塚信也とヴァイオリニスト・鷺見恵理子のジョイントコンサートが、大賀ホールで行われた。演奏曲目はショパン「英雄ポロネーズ」やガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」など。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑬ 8月19日、軽井沢芸術祭開幕。軽井沢芸術祭実行委員会は、軽井沢や佐久、小諸などの9つの障害者支援施設より約80人を招待し、公演「わたしのあしながおじさんクラシックス」を軽井沢大賀ホールで開いた。同実行委員会は「全ての方に平等に音楽を」との思いから、6年前より町内の浅間学園、軽井沢治育園などの施設を訪問し、クラシックコンサートを開催。今年はより多くの人に楽しんでほしいと、初めて軽井沢大賀ホールに招いた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑭ 8月15日、中軽井沢図書館の来館人数が8月15日午前10時過ぎ、開館から4カ月半で10万人を突破した。予想を上回る早さでの達成に、関係者からは驚きの声が上がった。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑮ 8月18日～、軽井沢ハーモニーハウスで「別荘地・軽井沢」展が開催された。「私の軽井沢の愉しみ」をテーマに公募した写真や絵画などの作品展示のほか、吉村順三設計の会場内部も見学可能。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑯ 8月10日、軽井沢町内の別荘住民と町民が親睦を深める「さわやか軽井沢交流会」を、4月に利用を開始した通年型のカーリング場「軽井沢アイスパーク」で開いた。昨年に続き2回目の開催で、300人を超える参加者が集まった。開会式に続き、国際協力

機構特別顧問の緒方貞子さんと、元厚生労働大臣の小宮山洋子さんが対談。幼い頃より訪れている軽井沢について、緒方さんは「故郷に近い存在」、6月に軽井沢へ移住したという小宮山さんは「日本で一番好きな山は浅間山」（小宮山さん）と話した。対談テーマは「軽井沢と国際性」。緒方さんは「日本は整った国で、違った考えや価値感を持つ人が育ちにくい。多様性のある、活力ある国へ変われば、国際化にも繋がる」と語った。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑰ 8月12、13日、3歳から中学生までの子どもと、その保護者を対象にした、8つのワークショップを楽しめる「キッズワークショップの町 軽井沢 2013」が、軽井沢町中央公民館で開かれた。iPadを使った絵本制作、粘土のミニチュアフードづくり、様々な種類の洗濯ばさみを使ったアート作りなど、日ごと異なる8つのワークショップを実施した。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑱ 8月6日～9日、ホテルブレストンコートで、第8回スイーツ博「スイーツミュージアム」が開催された。マカロンの歴史を学び、作り、食べる「マカロン・ラボ」や、野外でスイーツのピクニックボックスが楽しめる中庭など、会場は全部で5つのブースに分かれた。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑲ 8月2日～4日、軽井沢夏期大学が中央公民館で開かれた。65回目を迎える軽井沢夏期大学の今年のテーマは「出版文化を問い直す」。顧問の渡邊尚京都大学名誉教授は、「出版文化は新しい局面を迎えている。電子書籍が日常生活、社会や産業の構造をどう変えていくかを一人ひとりが考える素材を提供したい」と開講式で話した。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑳ 8月1日、「避暑地・軽井沢」を見いだしたA.C.ショーをはじめとする先人を称える第14回軽井沢ショー祭が開かれた。（軽井沢ヴィネット オンライン）

■2014年

2014年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 解釈改憲で集団的自衛権容認
- ② 衆院選で与党圧勝
- ③ 消費税率10%への引き上げ延期
- ④ 御嶽山が噴火、57人死亡6人不明
- ⑤ 広島で土砂災害、住宅流され74人死亡

⇒2014年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8月6日、軽井沢東126の友愛山荘で、元内閣総理大臣の鳩山由紀夫さんと、青山学院大学の学生約40人の交流が実現。鳩山氏は、軽井沢の町や友愛の歴史について講演した。これは毎年2回、ゼミナールの合宿に友愛山荘を利用している井口典夫先生（青山学院大学教授）と学生たちの依頼に、鳩山さんが応じたもの。友愛の起源は、東京生まれ、のちにオーストリアに帰国して、汎ヨーロッパ主義を唱えたクーデンホフ・カレルギー氏（現在のEUの生みの親）に求められる。これを機会に「軽井沢まちづくり協議会」（仮称）の設立を計画中の出口先生。来春までには具体的な人選と組織を明らかにしたいとした。（軽井沢ニュース）

② 7月19日、チラシ配布から会場づくりまで手づくり。浅間山重奏による「森のピ

アノトリオ・コンサート」が、追分公民館で開催され、町内外から約 70 人が来場した。
(軽井沢ニュース)

③ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

a. 8 月 11 日、YEK 夏の弦楽アンサンブル。アカデミーin 軽井沢公開レッスン。日本全国から演奏家を目指している弦楽を学ぶ優秀な若い人たちが集う YEK。彼らの演奏は毎年深い感動を誘います。

b. 8 月 22 日、軽井沢国際音楽祭 2014。子供たちのための音楽祭—鳥たちの歌。

c. 8 月 24 日、軽井沢国際音楽祭 2014。フェスティバル・オーケストラ・コンサート。名手ミッシェル・アリニョンによるモーツァルトのクラリネット協奏曲、そして避暑地で作曲され、ブラームスの「田園」と呼ばれる交響楽第二番。

d. 8 月 25 日、軽井沢大賀ホール主催。金子三勇士ピアノリサイタル。ハンガリーの血を引く若きサムライが弾くバッハ〜バルトークの名曲。ハンガリーで開花し日本を拠点に世界へ躍進する新進気鋭のピアニスト。

④ 8 月 24 日、私立の全寮制の国際高校学校「インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK)」が 8 月 24 日、開校した。15 の国と地域から集まった一期生 49 人のほか、関係者ら約 150 人が開校式に出席。生徒の代表者は「真の多様性の素晴らしさを学べると思い、ISAK 入学を決めた。素晴らしい高校生活を送り、ISAK の歴史の第一歩を築いていきたい」とあいさつした。同校代表理事の小林りんさんは「変革が起きている教育界に身を置くものとして、使命を忘れず、学校のミッションに誠実に、チーム一丸となって全力で進んでいきたい」と、力を込めた。(軽井沢ヴィネットオンライン)

⑤ 8 月 30 日、中軽井沢図書館多目的室で、「クリーニングデイ 1 日限りの特別上映会」が開かれた。当日はフィンランド映画「365 日のシンプルライフ」の上映会と、持ち寄った本を交換する「アップサイクルイベント」を行った。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑥ 8 月 9 日、軽井沢アイスパークで、軽井沢町内の別荘住民と町民が親交を深める「さわやか軽井沢交流会」が開かれ、600 名を超える参加者が集まった。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑦ 8 月 2、3 日、初めての夏のジュニアカーリング大会、JC カップ開幕。18 歳以下対象の「第 1 回 JC カップジュニアカーリング大会」(主催：軽井沢青年会議所) が開幕。軽井沢で夏に行われるジュニアの大会は初めて。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑧ 8 月 1 日、軽井沢の原点を見つめる第 15 回軽井沢ショー祭開催。避暑地としての軽井沢を見出した宣教師 A.C.ショーを始めとする先人を称える軽井沢ショー祭が 8 月 1 日、ショー記念礼拝堂前庭で行われた。15 回目を迎える今回も例年通り晴天に恵まれ、参加者は聖歌「アメイジング・グレイス」を斉唱し、ショーの胸像に献花を行った。
(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2015 年

2015 年は、こんな年だった。時事ドットコム 5 大ニュース

① 安全保障関連法が成立

- ② I Sが邦人人質殺害
- ③ T P P交渉が大筋合意
- ④ 川内原発が再稼働
- ⑤ 戦後70年で安倍首相談話

⇒2015年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8月12日、町のグランドデザインに触発されて、町商工会中軽井沢支部がまとめた中軽井沢商店街のビジョンを前号で紹介したが、国土交通相出身で東京、渋谷ほかでまちづくり活動をしてきた別荘住民。青山学院大学井口教授は、新軽の友愛山荘で、教授の軽井沢における旧知の有識者・文化人と地元30区の区長会メンバーとの交流会を開いた。鳩山由紀夫、水野誠一、中村良夫。團紀彦、石川洋、佐伯順子、黒川かこ氏らと、中嶋会長、市村副会長ほか計8名の区長さんたちとの交流から、今後何が生まれるか？（軽井沢ニュース）

② インバウンドからアウトバウンドへー中軽井沢から海外へ進出するー Love、Japan BRAND 社。国の支援を受け起業し、最近ではジェトロ（日本貿易振興機構）にも応援されて、アジアへ進出する。ラブジャパンブランドは、日本の伝統的な織物（帯、袖、真田紐など）を素材に、メイドインジャパンにこだわったものづくり技術で、箆箆に眠る帯地などを、インテリア用品にしたり、バッグなどのファッション雑貨に作り変えて、海外にまで販売している。（軽井沢ニュース）

③ 2015年12月、軽井沢プリンスホテルのバンケット「千曲」がリニューアル。最大120名着席のバンケットとテラスが一新し、より開放的なウェディングパーティーが可能になりました。（軽井沢ニュース）

④ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール（軽井沢ニュース）

a. 軽井沢大賀ホール主催。軽井沢大賀ホール Classics～世界のトップアーティストたちが軽井沢へ。8月13日、庄司紗矢香ヴァイオリン・リサイタル。8月14日、宮田大チエロ・リサイタル。8月15日、中村絃子、トーク&コンサート。

b. 8月25日、軽井沢大賀ホール主催公演、前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル、弦の最高峰、華麗な響き。

c. 8月26日、軽井沢国際音楽祭2015 こども音楽祭。植松徹と東京楽竹団の仲間たち。

⑤ 7月26日、追分宿&周辺等大槌町「虎舞」に感動の輪、第30回しなの追分馬子唄道中。過去最高の約二千人の人手で追分宿は大賑わい。（軽井沢ニュース）

⑥ 7月18日、2015年度軽井沢町・早稲田大学交流事業。「第18回おもしろ科学実験教室」が軽井沢セミナーハウスで。普段は理工系学生の実験サポートをしている先生たちが町内3小学校の児童約百名を指導してくれました（軽井沢ニュース）

⑦ 9月5日～10月25日、～石に憑かれた野郎達～黙々と石に己の執念を刻み込む男三匹「とうみ三彫刻展」東御市梅野記念絵画館。（軽井沢ニュース）

⑧ 8月4日～9日、第10回全国高等学校選抜アイスホッケー大会に軽井沢高等学校が出場します。（軽井沢ニュース）

⑨ ヨーロッパの知育玩具展 ～心を育むおもちゃの魅力～ エルツおもちゃ博物館。（軽井沢ニュース）

⑩ 8月22日、第二次世界大戦中にスイス公使館が疎開していた旧軽井沢の「深山荘」の歴史的意義や役割について探る公開シンポジウムが、軽井沢町中央公民館で開かれた。同日の旧スイス公使館の現地見学会に続き軽井沢町と筑波大学が主催し、約250人が受講した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑪ 8月24日、日本の伝統文化でユネスコ無形文化遺産にも登録されている人形浄瑠璃文楽の公演が軽井沢中部小学校で行われた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑫ 8月22日、旧スイス公使館見学会初開催。軽井沢町と筑波大学は、戦時中にスイス公使館として使われた旧軽井沢の「深山荘」の見学会を開いた。町が2007年に取得してから初めての開催。約400人が来場し、用意したパンフレットがなくなるなど関心の高さを窺わせた。「深山荘」は三笠地区で数十軒の貸別荘を営んでいた実業家の前田栄次郎が、1942年に建設したアパートスタイルの貸別荘。戦時中の1944年、軽井沢が外国人の疎開地に指定されると、スイス公使館が使用。戦後は1967年から2006年まで東京電機大学の学生寮として使われていた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑬ 8月12日、長野県中学総体(7/18~19・長野市)の男子柔道個人戦50kg級で優勝した軽井沢中学2年の曾根敬次郎さんが8月12日、軽井沢町役場に藤巻進町長を訪ね、全国大会(8/17~20・函館市)へ向け意気込みを語った。軽井沢中学では3年生以外が全国中学柔道に出場するのは初めて。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑭ 8月11日、東雲交差点にあるワインバーRUBATOで、オペラを間近に味わえるイベント「Opera & wine」が開催された。パリやロンドンで話題のレストラン「ベルカント」を訪れた軽井沢に別荘のある日本人女性が「音楽を楽しむ感動を日本でも伝えたい」と企画を考案した。ベルカントはレストランで食事をしながら、プロの若手オペラ歌手たちによるオペラのナンバーを味わうというスタイルで、ヨーロッパで人気となっている。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑮ 8月8日、軽井沢町は、別荘住民と町民が親睦を図る「さわやか軽井沢交流会」を通年型のカーリング場「軽井沢アイスパーク」で開いた。4回目の今年は、国連事務次長を18年間務めた明石康さんの講演などがあり、677人が来場した。13年ほど前から別荘を持ち、軽井沢を訪れるようになったという明石さんは「これからの軽井沢の役割と可能性」をテーマに講演。「非科学的な観察だが、軽井沢の空気は酸素が多いような気がします。夜は安眠ができるし、読書のスピードも軽井沢では一段と増す」。また、軽井沢町が「リゾート会議都市」を目指していることに触れ、「東京、横浜、大阪、神戸などのような大型の会議都市ではなく、200~300人規模の専門性の高い対話型、滞在型の国際会議を企画し実施するのがこの街にぴったりではないか」と提案した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑯ 8月1日、軽井沢を避暑地として見出した宣教師アレキサンダー・クロフト・ショーはじめ、今日の軽井沢を築いた先人たちを称え、その原点を未来へ伝えようという町民祭『軽井沢ショー祭』が8月1日に開催された。16年前から式典中は1度も雨に降られたことがないというこの祭典、16回目となるこの日も晴天に恵まれた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2016年

2016年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 天皇陛下、退位の意向示唆
- ② 熊本地震、死者150人超
- ③ 米大統領、歴史的な広島訪問
- ④ 安倍首相、真珠湾慰霊へ
- ⑤ 消費増税、再延期

⇒2016年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8月5日、第2回まちづくり関係講演会および交流会開催。新軽・友愛山荘にて。産学等各界の要職にある別荘民で、将来の軽井沢のために貢献したいとする仲間が集まって設立した国際文化都市整備機構 FIACS。同団体主催の講演会が8月5日、友愛山荘ホールにて開催された。昨年に続く第2回は、内容・成果において、一段と現実性・具体性が見られ、地元関係者との交流も一層深まるなど、極めて充実。町の第5次長期振興計画やランドデザインへの大きな援護射撃となるに違いない。(軽井沢ニュース)

② 9月4日、「小型モビリティの展示・試乗会」を開催。G7長野県・軽井沢交通大臣会合直前イベントで。“小さな交通で都市を変えよう”と「小型モビリティの展示・試乗会」が9月4日、G7長野県・軽井沢交通大臣会合の直前イベント「エコカーふれあいイベント」(仮称)の一環で開催される。(軽井沢ニュース)

③ 7月23日、2016年度軽井沢町・早稲田大学交流事業「第19回おもしろ科学実験室」が早稲田軽井沢セミナーハウスで。今年で19回目を迎える交流事業には町内3小学校の1年生から3年生50名と、4年生から6年生46名が参加した。(軽井沢ニュース)

④ 8月1日、ビッキオ野鳥の森ビジターセンターが移転オープン！ 「森との一体感と開放的な空間」は～好奇心の扉を開く場所～ 新ビジターセンターは、軽井沢野鳥の森に隣接する池のほとりにあって、水辺をめぐって野鳥の森に続くボードウォークは、建物と一体となって室内と水辺、さらにその奥に広がる森と繋がっている。水辺に面した開放感あふれる大きな窓からは、軽井沢の四季折々の自然を存分に感じることができる。(軽井沢ニュース)

⑤ 7月31日、岩手県大槌町の臼澤鹿子踊り、軽井沢発地市庭で東日本大震災復興支援チャリティー開く。大浅間火炎太鼓客演。地域の再生を願う勇壮な舞。岩手県大槌町の伝統郷土芸能、臼澤鹿子踊りが7月31日、軽井沢発地市庭のイベント広場で披露され、買い物客らが約百人観賞した。(軽井沢ニュース)

⑥ 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

- a. 軽井沢大賀ホール Classics 2016、三大テノールリサイタル～軽井沢で出会うトップアーティストたちの饗宴～テノール三本の矢の共演。
- b. 8月17日、高広幸子フルートコンサート in 軽井沢 vol.17。爽やかな軽井沢の風にのせて～リサイタルシリーズ4
- c. 8月21日、昼下がりの優雅なひと時、荒川洋&三輪郁、煌めくフルートとピアノの調べ。
- d. 8月25日、軽井沢大賀ホール主催公演、熊本地震復興支援。松田華音ピアノ・リサ

イタル。

e. 9月3日、軽井沢国際音楽祭 2016 Happy Music Hour Concert.

f. 9月6日、辻井伸行スペシャル・コンサート。優しいピアノが心に響く人気の自作、そしてクラシックの名曲を熱演！

g. 9月17日、フォシャオジュン、二胡天女コンサート。

h. 9月22日、第2回親子で楽しむ動物コンサート。昨年夏に、大賀ホールで行われた「親子で楽しむ動物コンサート」を好評にお応えして、今年も行います。

⑦ 7月30日～8月31日、きのこメニューフェア。きのこで菌活@PRINCE SHIPPING PLAZA（軽井沢ニュース）

⑧ 8月21日、世界遺産信州軽井沢倶楽部。2016年第2回講演会と交流会を開催。中央公民館。（軽井沢ニュース）

⑨ 企画展「恋する現代アート」を開催。2013年から同館の代表理事を務める堤たか雄さん（45）が、就任後初めて主体となってキュレーションしたもの。（軽井沢新聞）

⑩ 二胡奏者のフォ・シャオジュンさんが9月17日、軽井沢大賀ホールでコンサートを開いた。軽井沢日本中国友好協会の支援を得て、大賀ホールでの公演が実現。（軽井沢新聞）

⑪ 国内外の合唱団が集まる「軽井沢国際合唱フェスティバル 2016」が8月26日（金）から3日間、町内各所で開催される。今年のはべ33の合唱団が参加し、中国や台湾から訪れる団体もある。28日13時から軽井沢大賀ホールで行われるコンサートでは、初来日のラトビア出身アカペラ・ヴォーカルグループ「ラトビアンボイシズ」が歌声を披露。その他聖パウロカトリック教会でのコンサートやアンサンブルコンテストなども行う。（軽井沢新聞）

⑫ シンガポールのリー・シェンロン首相が6月、プライベートで軽井沢を訪れたときに撮影し、Facebookにアップした写真が話題になっている。旧軽井沢銀座の呉服屋京林前に置いてあるマーライオンの置物の画像を掲載し、「旅行中、シンガポール人に会うことはよくあるが、マーライオンに会うことは滅多にない」とコメントを記した。（軽井沢新聞）

⑬ 100年目を迎えた軽井沢国際テニストーナメント（一般財団法人軽井沢会主催）が7月30日から9日間にわたって旧軽井沢の軽井沢会テニスコートで行われた。

⑭ 軽井沢タリアセンにあるペイネ美術館は開館30周年を迎えた。これを記念するイベントが行われ、「レストラン湖水」では9月1日～30日の期間限定で特製デザートを提供した。レイモン・ペイネが好きだったデザート・ミルフィーユをアレンジしたもので、木いちごを入れたアングリーズソースとパイ生地がマッチしている。（軽井沢ヴィネット オンライン）

⑮ ヴィネットサロン 今年「軽井沢避暑地130周年」をテーマに開催。高原誌「軽井沢ヴィネット」の読者交流パーティーが8月20日に行われ、福井県や兵庫県など全国各地から約90名の読者が参加した。今年で11回目。今回は軽井沢避暑地130年にちなんだ様々な企画を用意した。（軽井沢ヴィネットオンライン）

⑯ フランス芸術家協会名誉会長を務める、レジオン・ドヌール勲章受賞画家のジャン＝マリー・ザッキさんが8月26・27日に、「ギャラリー桜の木軽井沢」を来廊した。

同ギャラリーでは現在ザッキ氏の最新油彩約 20 点を紹介している。軽井沢の森や碓氷峠の空気の印象を表現した作品などもある。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑰ 川野芽衣さん、軽井沢からロシアでプロのバレエダンサーに。小学校 1 年から中学校 3 年まで軽井沢で暮らしたのち、ロシア国立モスクワ・ボリショイバレエ学校へ 3 年間留学した川野芽衣さんが、9 月からイヴァノヴォ音楽劇場（ロシア・イヴァノヴォ市）に入団し、プロのダンサーとして新たな一歩を踏み出した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑱ 作家の下重暁子さんが講演。作家で日本ペンクラブ副会長の下重暁子さんが 8 月 20 日、軽井沢高原文庫中庭で講演を行った。演題は「私と軽井沢 そしてタゴール」。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑲ 軽井沢を避暑地として見出した A. C. ショーはじめ、軽井沢の歴史と伝統を築いた先人たちを顕彰する恒例の『軽井沢ショー祭』が 8 月 1 日開催された。ショー祭は今年で 17 回目。式典は今まで一度も雨に降られたことがなく、今回も晴れ渡った空の下、ショー記念礼拝堂の前庭に参加者 250 人が集まり、ショー師胸像に花を捧げた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑳ ホテル事業を展開する「森トラスト・ホテルズ&リゾーツ」は「ラフォーレ倶楽部ホテル中軽井沢」を全面改装し、長野県内初の外資系ホテル「軽井沢マリオットホテル」を 7 月 29 日に開業した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉑ ウィスラー市長が講演、町長と対談 第 5 回さわやか軽井沢交流会開催。軽井沢町は 7 月 30 日、「さわやか軽井沢交流会」を軽井沢アイスパークで開いた。町民と別荘滞在者の交流の場として毎夏開催し、今年で 5 回目。軽井沢が保健休養地として発展を始めて 130 周年を迎えることを記念して、姉妹都市であるカナダ国ウィスラー市のナンシー・ウィルヘルム・モーデン市長が来日。町長との対談と、「世界的リゾート ウィスラー」と題した講演を行った。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉒ 7 月 30 日にしなの鉄道軽井沢駅構内にワインバー「オーデパール」がオープンした。29 日にはレセプションが行われ、関係者ら約 30 名が参加した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2017 年

2017 年は、こんな年だった。時事ドットコム 5 大ニュース

- ① 天皇退位、2019 年 4 月末に
- ② 衆院選で自民大勝、民進が分裂
- ③ 森友・加計・日報、政権揺るがす
- ④ 「ものづくり」信頼揺らぐ
- ⑤ アパートに 9 遺体、男を逮捕

⇒2017 年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8 月 5 日、FIACS 主催第 3 回まちづくり講演会および交流会を開催。友愛山荘にて。各買の要職にある別荘民で、軽井沢の将来に貢献したいとする仲間が集まって設立した国際文化都市整備機構 (FIACS)。同団体主催の講演会等が 8 月 5 日、友愛山荘で開催された。3 年目の今回は軽井沢駅北口の開発に新たな示唆を与えるもの、企業経営

者が発見した軽井沢の新しい魅力を紹介するものなど、内容において一段と膨らみが見られ、参加者の満足度も高いものとなった。町は第5次長期振興計画を推進中だが、次の展開を考える上で大いに参考になるだろう。

1) 青山学院大学教授・井口典夫氏（国土交通省・国土審議会委員）による「新軽井沢グランドデザイン案」の概要紹介。テーマ自体は昨年からの継続であるが、今回は内容的に一段と進めた形だった。軽井沢駅北口では駅北西方面に位置する旧来からの市街地の活性化を最優先し、旧駅舎再利用のほか、駅西側の町営駐車場を移転して跡地を民間の開発に委ねることなど効果的と主張。それにより北駅北口と別荘地とが歩行者目線でつながるほか、アウトレットモールを含めた南北回遊動線の形成も容易になると説明。

2) 博報堂顧問・泊三夫氏による「脳養池としての軽井沢」

3) 松竹常務・岡崎哲也氏による「エンタメ産業から見た軽井沢」

4) FIACS 副理事長・増田宗昭氏。CCC 社長による軽井沢&東京、新しいライフスタイルの提案」と続いた。（軽井沢ニュース）

② 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール（軽井沢ニュース）

a. 軽井沢大賀ホール CLASSICS 2017

・ 8月11日、上原綾彩子ピアノリサイタル。

・ 8月12日、大谷康子&横山幸雄ディオリサイタル。

・ 8月12日、熊本マリ ピアノバカンスコンサート in 軽井沢。

b. 8月15日、軽井沢大賀ホール主催公演。直木賞&本屋大賞ダブル受賞で話題の『蜂蜜と遠雷（恩田睦 著）』。それぞれのバックグラウンドを抱えながら、ピアノコンコールの頂点を目指す挑戦者たちの情熱と葛藤を描いた作品。

c. 8月24日、軽井沢大賀ホール主催公演。萩原麻未ピアノ、リサイタル。2010年第65回ジュネーブ国際コンクールピアノ部門優勝者。

d. 9月3日、フォシャオジュン二胡天女コンサート。

② 毎週水曜日無料体験レッスン会、ビームヒップホップダンス軽井沢校、JNSホール。秋の入会キャンペーン特典多数。（軽井沢ニュース）

③ 靴職人の工房、旧軽井沢に「仕事を間近に感じて」、靴販売のサトウシューズスタジオが運営する、旧軽井沢銀座の施設「SASH! インターナショナル」の一角にこの夏、東京の若手靴職人の工房・ギャラリーがオープンした。（軽井沢新聞）

④ さわやか軽井沢交流会「SC 軽井沢クラブ」選手らトーク。軽井沢町は7月29日、別荘住民と町民が親睦を図る「さわやか軽井沢交流会」を、軽井沢アイスパークで開き、約400人が来場した。来年のピョンチャン冬季オリンピック出場を決めた、カーリング男子「SC 軽井沢クラブ」の選手5人が五輪への意気込みなどを語った。（軽井沢新聞）

⑤ フットゴルフの世界大会、10月にカウントダウンボード除幕。サッカーとゴルフを融合させたスポーツ、フットゴルフのワールドツアー大会（主催：日本フットゴルフ協会）が10月26～29日、軽井沢72ゴルフ南コースで開かれる。サッカーとゴルフを融合させたスポーツ、フットゴルフのワールドツアー大会（主催：日本フットゴルフ協会）が10月26～29日、軽井沢72ゴルフ南コースで開かれる。（軽井沢新聞）

⑥ 横川サービスエリアに軽井沢をイメージした庭園完成。東日本高速道路（NEXCO 東日本）佐久管理事務所は7月23日、上信越道横川SA（下り線）に、「軽井沢・信州

へのプロローグ」をコンセプトにした、イングリッシュガーデンをオープンした。(軽井沢新聞)

⑦ ヴァイオリンの音色間近に大谷康子さん軽井沢中で演奏。ヴァイオリニストの大谷康子さんが7月24日、軽井沢中学校で演奏会を開き、3年生約130人が音色に耳を傾けた。トークを交えつつ「ハンガリー舞曲」など6曲を奏でた。(軽井沢新聞)

⑧ 9月3日、昨年に続き二胡天女出演。4000人の中から選ばれた女子十二楽坊の第一期生で、北京の国立中国歌劇舞劇院で長くソリストを務め、海外の演奏でも活躍してきた中国を代表する二胡奏者、フォ・シャオジュンさんの演奏会が、大賀ホールで開催された。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑨ 9月9日、映画「この世界の片隅に」の音楽担当 コトリンゴライブ。映画「君の名は。」と並び、2016年話題を集めた劇場用長編アニメ『この世界の片隅に』の音楽を手がけたシンガーソングライター、コトリンゴが、軽井沢ハーモニーハウスで公演した(軽井沢ヴィネット オンライン)。

⑩ 8月2日～31日、小さなカルタ館で、神保町に本店を構える奥野かるた店軽井沢店が、「～創業100年に向けて～奥野かるた店歴史展」を開催された。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2018年

2018年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① オウム松本元死刑囚らの刑執行
- ② 日産ゴーン会長を逮捕
- ③ 財務省が森友文書改ざん、20人処分
- ④ 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- ⑤ 安倍首相、「2島先行返還」へかじ

⇒2018年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8月4日、FIACS主催、第4回まちづくり講演会&交流会が開催された。友愛山荘にて。FIACS(国際文化都市整備機構)の通算第4回目の講演会と交流会が昨年に引き続き、新軽井沢の友愛山荘セミナーハウスで開催された。プログラムは、水野誠一理事長の挨拶に始まり、

- 1) CCC 増田宗昭社長の「軽井沢&東京、新しいライフスタイルの提案」講演。二
- 2) 元NHKキャスターで軽井沢の別荘生活が長い松平定知さんの「最新の軽井沢について思うこと」
- 3) 團紀彦(青学大)と堤たか雄(セゾン美術館)さんの「千ヶ滝地区の将像試案は」、新しく登場した軽井沢共生ビジョンというべきもの。
- 4) 泊三夫「脳養地としての軽井沢」
- 5) 岡崎哲也「続・エンタメ産業から見た軽井沢」など従来からの継続研究も披露さ、それなりの進展が理解できた。(軽井沢ニュース)

② 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール(軽井沢ニュース)

a. 8月12日、バレエコンサート in 軽井沢大賀ホール、バッハアルテ&バレエギャザリング

b. 軽井沢大賀ホール CLASSICS 2018

・8月13日、反田恭平。ピアノリサイタル。

・8月14日、小菅優ピアノリサイタル。

c. 8月15日、ベートーヴェンの会、第2回演奏会。

d. 8月17日、軽井沢国際音楽祭 2018、真夏に聞く「冬の旅」。

e. 8月21日、文楽の世界に触れる。ユネスコ文化遺産に指定されている文楽。国際劇場で活躍するプロの技芸員が軽井沢大賀ホールならではの特設舞台で伝統的な二つの演目を披露。

f. 8月23日、軽井沢大賀ホール主催公演。成田達輝&中野翔太デュオ・コンサート。

③ ベルーナ、南軽井沢・八風湖畔に高原リゾートホテルを7月20日にオープン。天然温泉、宿泊婚礼「ルグラン軽井沢」。(軽井沢ニュース)

④ 9月19日～11月28日、毎週水曜日開催、8回講座。音楽レクリエーションサポーター養成講座を開催します。軽井沢町社会福祉協議会。(軽井沢ニュース)

⑤ 7月22日、三ツ石のジャズカフェ「ジュニー」で寺島靖国さんのテラシマ円盤堂を聴く会が開催。(軽井沢ニュース)

⑥ 在住外国人ら茶事体験 陶芸家の新設の茶室で。軽井沢で暮らす外国人と交流活動などを行うNPO法人「IAK 軽井沢国際交流協会」は7月14日、陶芸家の田端志音さんの工房「志音窯」の完成したばかりの茶室でお茶会を開いた。田端さんが同協会員ということもあり、日本伝統の茶事を外国人らに楽しんでもらおうと企画。4席開き、32人が参加した。(軽井沢新聞)

⑦ 5階層のタワー型アスレチック、日本初オープン。キャンプ場などを運営しているライジングフィールド軽井沢はファミリー向けに5階層のタワー型アスレチック「アウルアドベンチャー」を7月21日にオープンした。1、2、4、6、8mの5つのコースに分かれているのが特徴で、同社によると5階層のタワー型アスレチックは日本初だという。(軽井沢新聞)

⑧ 信州食育発信『3つの星レストラン』に認定 軽井沢で4軒目。長野県が認定する信州食育発信『3つの星レストラン』とは①「バランスのとれたメニュー」②「地元食材を使用」③「小盛り、ハーフサイズなどがあり、食べ残しを減らす取り組みがある」の3つの条件を長野県が審査し、認可された店舗。軽井沢町では3軒しかなかったが、レストランソネット(軽井沢タリアセン)が認定されて4軒となった。(軽井沢新聞)

⑨ 軽井沢書店で在住作家イベント開催。9月8日(土)14:00～15:30、軽井沢書店CAFÉスペース定員30名。今年5月にオープンした軽井沢書店で、作家・村山由佳さんのトークイベントが開催される。「日本でいちばん、作家の集まる町に暮らして」と題して、軽井沢在住作家の視点で、軽井沢の魅力や執筆活動、著作について語る。イベントのファシリテーターは『軽井沢ヴィネット』広川美愛編集長が務める。(軽井沢新聞)

⑩ 美術館にブックカフェ、グランドオープン。軽井沢本通りの美術館「軽井沢ニューアートミュージアム」は1階の改装を終え、8月1日にグランドオープンした。館内にキーコーヒーが運営するカフェ「KEY'S CAFE」が出店。中央の通路にソファとテーブルを設置して両脇には約1万冊の書籍が並ぶ本棚を置いた。カフェで購入した飲み

物は1階ギャラリーでも飲むことができる。「アートに興味がない人でもコーヒーを片手に本を読みながらくつろいでほしい」と同館担当者。2階は従来のまま美術館として展示会を開催している。(軽井沢新聞)

⑪ 創設者の後藤新平、新渡戸稲造揮毫の書。創設から100周年を迎えた「軽井沢夏期大学」(主催：軽井沢町教育委員会、佐久教育会)で、創設者である政治家の後藤新平、農学者・教育者の新渡戸稲造の揮毫した書がステージの両脇に掲げられた。中軽井沢の文房具屋十二屋商店の店主、長谷川淳一さんが貸し出した。(軽井沢新聞)

⑫ 侍ジャパン U-12 代表に。少年野球チーム「軽井沢ジャガーズ」に所属する軽井沢西部小6年の加藤獅竜君が、侍ジャパン U-12 代表に選出された。8月13日から19日まで、台湾で開かれる「第10回 BFA (アジア野球連盟) U-12 アジア選手権」に出場する。(軽井沢新聞)

⑬ 7月開業の大規模な宿泊施設。東急不動産が塩沢通りで建設を進めて浅間山を眺望できる約5万㎡の敷地に2棟の宿泊棟をはじめ、スパや小瀬温泉を使用した大浴場があるスパ棟など5棟を建設。客室は洋室や和洋室などのハーヴェストクラブ(127室)、専用の露天風呂やスイートタイプの部屋がある VIALA(49室)の全176室。館内にはフレンチやビュッフェ、和食の3つのレストランや、ワインサロンがある。会員制ホテル「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」が完成し、7月20日にオープンした。(軽井沢新聞)

⑭ ハルニレテラスの新店舗、アウトドアリビング用品が充実。星野リゾートが運営している商業施設「ハルニレテラス」にテラスやウッドデッキなどで使用できる雑貨や家具を販売する「モリアソビ」が7月14日にオープンした。店内には観葉植物やプラスチック製の食器、オイルランプなど「アウトドアリビング」グッズが並ぶ。ガーデニングの相談も受け付けている。運営は質屋の合資会社カドノが行う。(軽井沢新聞)

⑮ 先人を称えて、19回目のショー祭。8月1日快晴の下、軽井沢ショー記念礼拝堂で19回目となるショー祭が開催された。式典には約150名が参加し、軽井沢の別荘文化を作ったアレキサンダー・クロフト・ショーの銅像に献花して先人たちを称えた。その後行われたアフタヌーンコンサートでは軽井沢少年少女合唱団が「金色の太陽が燃える朝に」など5曲を歌い、ギタリストのルナ・ケンゾーさんが「愛の讃歌」などを弾き語った。(軽井沢新聞)

⑯ ガラスの靴でシンデレラ気分。「シンデレラ&プリンセス絵本展」を開催中の軽井沢絵本の森美術館は7月15日、来館者にプリンセス気分を楽しんでもらう「SPECIAL PRINCESS DAY」を開いた。シンデレラの絵本に記された楽譜のメロディーをハーブなどで奏でる演奏会や、ドレスやガラスの靴を身に着けたフォト撮影会などを実施。(軽井沢新聞)

⑰ 8月30日、軽井沢文化協会創立65周年 オペラ公演や写真家の講演。米軍の浅間山演習地反対運動をきっかけに創立した軽井沢文化協会が、軽井沢町中央公民館で創立65周年記念の催しを開いた。軽井沢シンフォニックコーラス、マトゥーリ男声合唱団などが出演する、オリジナルの合唱オペラ、軽井沢組曲「美しい村」のコンサート、世界の紛争地などで写真を撮り続けてきた写真家、大石芳野さんによる講演会「いま平和を考えるー一戦争の傷跡をみつめて」を開催する。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑱ 8月24日～26日、「森の音楽祭」吉村順三設計の音楽ホールで。軽井沢森の音楽祭（主催：同実行委員会）が、ハーモニーハウスで開催される。24日は中川座オペラが出演する「椿姫」全幕ハイライト「全ては愛ゆえに」、25日はアルゼンチンの作曲家アストル・ピアソラの曲をトリオが演奏する「オール・ピアソラ・プログラム」、26日はシューベルトの歌曲をピアノ五重奏が奏でる「歌曲王シューベルトを中心に」。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑲ 8月11日～9月30日、触れても大丈夫！200点以上の写真を展示、旧メルシャン軽井沢美術館で。広告写真などの制作を行っているアマナは御代田町と8月11日から旧メルシャン軽井沢美術館周辺で国内最大級の写真の祭典「浅間国際フォトフェスティバル」を開催した。国内外のアーティストら28人の作品を約200点集め、屋内外に展示。車の中で撮影してポートレイトを印刷する「フォト・トラック」やパネルから顔を覗ける写真など家族連れでも楽しめる体験型の作品もあった。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑳ 日本人の町内別荘第一号「八田別荘」一般公開。軽井沢で日本人が建てた最初の別荘「八田別荘」が9月30日までの土、日曜、祝日に一般公開された。別荘は1893（明治26）年、旧海軍大佐で衆院議員なども務めた八田裕二郎によって建てられ、3代にわたり当時のままの姿で維持してきたが、2015年から町が取得し管理している。建物内部には入れないが、窓などが開放され、敷地内から中を見ることができた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉑ 8月17、18日、作家・蟹江杏が制作風景を公開。若手女流画家の蟹江杏、軽井沢現代美術館で版画の制作風景を公開した。当日はしなやかな線と個性豊かな色彩で作品を作る瞬間を間近で見ることができた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉒ 豆腐料理のレストランだった松水庵が、カフェ併設の本屋さんになってオープンした。子どもはもちろん大人にも触れてほしい名作絵本や、大型図鑑、料理関連の本、植物や鳥・昆虫などの自然科学本、軽井沢を取り上げた本など、こだわりの品揃え。元レストランの個室を活かし、大人向けの本と子ども向けの本が分かれていて、別荘地の静かな雰囲気の中でゆったりと本を選ぶことができる。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉓ 『家族という病』などのベストセラーで知られる作家の下重暁子さんがコレクションした「藍木綿の筒描き」の展示が9月2日まで、三五荘資料館で行われた。江戸時代の職人が鶴亀、松竹梅を描いた藍木綿の祝布団、大風呂敷など100点以上を間近に見ることができた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉔ 8月10日～8月12日、「NEC 軽井沢 72 ゴルフトーナメント」（主催：NECグループ）が、軽井沢 72 ゴルフ北コース（6655ヤード、パー72）で開催された。ディフェンディングチャンピオンの比嘉真美子をはじめ、笠りつ子、成田美寿々、有村智恵ら歴代優勝者も出場予定リストに名を連ねた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉕ 8月3日～8月19日、軽井沢本通りの「ワイン&ミュージック RUBATO」では、食事とオペラの演奏を楽しむ「オペラフェスティバル」を開催した。若手のプロの演奏家ら総勢25人が日替わりで登場し、オペラの名曲を奏でた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2019年

2019年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 令和へ代替わり
- ② 消費税10%に、軽減税率導入
- ③ 台風・豪雨で甚大被害
- ④ 京アニ放火殺人36人死亡
- ⑤ ラグビーW杯で列島熱狂

⇒2019年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 8月3日、軽井沢町内に別荘を所有されている皆さんと、町民が交流する場として開催されていた「さわやか軽井沢交流会」が、令和を迎えて「軽井沢ゆうすげの集い」と名前も改め開催された。町民が愉しみに予感していた、この「ゆうすげの集い」は、梅雨晴れの青空の下、軽井沢プリンスホテルウエスト・メインバンケットホール長野を会場に多くの来客で賑わった。近隣の9市町と軽井沢町が会場の左右に各々が、物産品の紹介と販売コーナーを設け、観光案内まで引き受けてくれた。アトラクションの軽井沢オペラライブプロジェクトによる「ひるさがりのコンサート」や信州上田真田陣太鼓保存会の「勇壮な太鼓演奏」などで、会場は大いに盛り上がった。この日、1)安中市、2)佐久市、3)東御市、4)御代田町、5)千曲市、6)上田市、7)小諸市、8)立科町、9)富岡市の皆さんが来場した。(軽井沢ニュース)

② 教育委員会日より。10月から少児教育・保育の無償化がスタートします。(軽井沢ニュース)

③ 軽井沢にドーナツ屋がオープン。RK GARDENのシェフがこだわりを重ね、たどり着いた味。ヴィーガンだから罪悪感無く2個3個食べられて嬉しい。おからと豆乳で作る身体にもやさしいどこか懐かしいドーナツです。(軽井沢ニュース)

④軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール (軽井沢ニュース)

- a. 8月12日、大賀緑 PRESENTS 五木ひろしスペシャルライブ。
- b. 8月13日、軽井沢大賀ホール CLASSICS 2019。堤剛&小山実雅恵子ディオ・リサイタル
- c. 8月16日、バレエコンサート in 軽井沢大賀ホール／軽井沢バレエギャザリング&バッハアルテ Vol.4。
- d. 8月18日、オーケストラ イグレック特別演奏会 in 軽井沢。
- e. 8月19日、みんなで集い歌う会「歌声の森」 in 2019。
- f. 8月20日、アンサンブルモンソロ、「本田早美花とパリの仲間たち」。
- g. 8月22日、軽井沢大賀ホール主催公演、實川風ピアノリサイタル。
- h. 8月31日、軽井沢国際音楽祭 2019、室内楽コンサート横川晴児と音楽祭の仲間たち〜もう一つのクラリネット五重奏曲。
- i. 10月6日、軽井沢女声コーラス、15周年記念演奏会「歌に愛を込めて」軽井沢大賀ホール。
- k. 9月14日、千住真理子ヴァイオリンリサイタル in 軽井沢。

⑤ 第7回軽井沢町スポーツ協会長争奪カーリング大会参加チーム募集中。(軽井沢ニュース)

⑥ 8月16日、17日、NEC 軽井沢 72 ゴルフトーナメント。(軽井沢ニュース)

⑦ 8月23日～25日、ペルシャ絨毯&ギャップ展、アールヌーボー展。ベルリネッタ軽井沢にて。(軽井沢ニュース)

⑧ 8月3日、軽井沢町ウィスラー姉妹都市提携20周年記念式典が行われました。湯川ふるさと公園にて。姉妹都市提携20周年記念碑(イヌクッシュ)の序幕と調印式典を、ジャック・クロンプト、ウィスラー市長お迎えして行いました。(軽井沢ニュース)

⑨ 8月27日、「谷川俊太郎と過ごす夏の終わりの軽井沢の午後」軽井沢朗読館にて。

⑩ 7月26日、軽井沢町学習センターの開講式が行われました。軽井沢高等学校の魅力化への町の取り組みの一つとして、新たな教育施設を導入。一人ひとりを伸ばし、自己表現できる教育環境の整備充実を町が支援、軽井沢高等学校内に学習センターを設置します。(軽井沢ニュース)

⑪ 20回目の軽井沢ショー祭。軽井沢を築いた先人を讃える「第20回軽井沢ショー祭」は雨のため、ショー記念礼拝堂内で開催。作家の加賀乙彦さんと朗読家の青木裕子さんの対談や、フルート演奏も行われた。祭典が終わる頃には雨が上がり、多くの人がショーの銅像に献花していた。(軽井沢新聞)

⑫ 室生犀星記念館、1年3か月ぶりの開館。作家の室生犀星が夏を過ごした山荘(現室生犀星記念館)の補修工事が終わり、7月25日から一般公開を再開した。劣化や破損が特に酷かった屋根と柱を中心に補修。今回の工事で固くて開けられなかった雨戸が開き、トイレとして使われていたと思われる部屋も見つかった。展示については昭和6年建設当時の図面を示したと思われる板図を公開。(軽井沢新聞)

⑬ 奥深さを知る『軽井沢茶話』(かるいさわ)。軽井沢町立図書館や民俗資料館の館長を務めた作家、塩川治子さんが、この夏『軽井沢茶話』を上梓した。タゴールの胸像がなぜ碓氷峠にあるのか、浅間山と頼朝伝説、ラギーザお玉という画家、個性的な外国人たちの話...等々、そこには知っているようで知らなかった軽井沢の小さな物語が60話。軽井沢ってなんと奥深いことかと思わせてくれる。(軽井沢新聞)

⑭ 遠隔地から仮想空間で討論 リゾートテレワーク PR。町内の民間団体「軽井沢リゾートテレワーク協会」(会長:土屋芳春)は7月22日、情報通信技術を活用し時間や場所にとらわれずに働く、テレワークに関するパネルディスカッションを町内で開いた。遠隔地にいる人同士が仮想空間でミーティングできる、NTTドコモが開発中のシステムを使用。(軽井沢新聞)

⑮ 「これから成長を」TM軽井沢、練習公開。5月に発足したカーリングチームTM軽井沢(Team Morozumi 軽井沢)が7月26日に、軽井沢アイスパークで練習を公開した。北海道を中心に活動していた岩井真幸選手と、宿谷涼太郎選手が合流し、7月から週2回合同で練習している。宿谷選手は2022年北京五輪を見据え「これから成長して、金メダルが取れたら良い」と意気込んだ。(軽井沢新聞)

⑯ NY州立大で建築学ぶ学生、軽井沢訪問の感想語る。ニューヨーク州立大学バッファロー校建築設計学部の学生11人が、軽井沢を訪れた感想などを述べ合う座談会が7月22日、中軽井沢の宿泊・飲食施設「くっかけステイ」であった。くっかけステイの総合デザインを手がけた建築家が、同校の教授と繋がりがり実現した。生徒らは、1カ月半ほどかけて日本各地の建築物などを見学する研修の一環で、軽井沢を訪問。熊

野皇大神社やショー記念礼拝堂、千住博美術館、中山道 69 次資料館、信濃追分文化磁場油やなどを見学した。ある生徒は、駅から出たときの印象を「リゾート地と聞いていたが特別感はなかった。ただ、一步入ると魅力的で、自転車で回ってみたい欲求にかられた」。他には、「建物は新しいものと古いものが融合して、バランスがよい」という意見もあった。(軽井沢新聞)

⑰ 住民と児童の交流を深めるコンサート、西部小で。軽井沢西部小学校で 7 月 24 日、授業への影響がない休み時間を利用して、コンサートが催された。演奏したのは佐久市を中心に学校や施設に出向いて公演活動をしている音楽グループ「音和の会」。コカリナやハーブなどで「大きな古時計」など計 6 曲を披露。(軽井沢新聞)

⑱ 女性にスポットを当てた食のフォーラム。軽井沢ガストロノミー・フォーラム(主催:美食リゾート軽井沢プロジェクト)が 7 月 17 日、「食の世界の女性たち」をテーマに開催され、女性シェフや地域の女性生産者らを招いて講演や座談会などが行われた。開会にあたりディレクターの渡辺万里さんは「文化と歴史のある軽井沢で食を語り合う日を作りたいと思っていた」と挨拶。軽井沢で野菜やハーブなどを栽培している「軽井沢サラダふぁーむ」の依田美和子さんも登壇し、生産者としての取り組みや苦勞等を語った。(軽井沢新聞)

⑲ 8 月 31 日～9 月 16 日、イラストレーター・田阪リカさんの作品展が、軽井沢タリアセンの旧朝吹山荘「睡鳩荘」で開かれた。色彩豊かに描いたイラストに、ちぎった和紙や刺繍糸を組み合わせたミクストメディア作品を中心に、「アーカイヴス」「人」「食」「軽井沢」の 4 つのテーマで約 50 点の作品を展示。ユーモラスな立体作品などもあわせて紹介された。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑳ 8 月 28 日、軽井沢に現存する最古の洋館別荘、三井三郎助別荘の保存を求め、住民有志でつくる軽井沢文化遺産保存会は、8 月 28 日、藤巻進軽井沢町長へ 1414 人の署名と要望書を提出した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉑ 8 月 31 日、日本伝統の人形劇「文楽」を、間近に鑑賞しながらディナーを楽しむ催しが、軽井沢星野エリアのダイニング、村民食堂で開かれた。国立劇場や国立文楽劇場で活躍するプロの人形遣いが有名な演目と楽しい解説で、初心者にも分かりやすくレクチャーされた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉒ 8 月 31 日、9 月 1 日、今年で 18 年目を迎えるコンサート「軽井沢国際音楽祭」が、軽井沢大賀ホールで開催された。毎夏、NHK 交響楽団メンバーや、国内外で活躍しているアーティストが集まり、名演奏を生み出している。今年は 8 月 31 日にモーツァルトなどの曲を奏でる「室内楽コンサート」、9 月 1 日はブラームスの曲を演奏する「フェスティバル・オーケストラ・コンサート」が行われた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉓ 星野リゾートが運営するホテル「BEB5 軽井沢」は、セゾン現代美術館とコラボし、アート作品に名前を付ける企画「Name me!」を開催した。作品を出品している画家の一人、門田光雅さんの作品 16 点を、ホテルのパブリックスペースに展示。そのうちまだ名前が付いていない作品 1 点の前で、考えた名前をスケッチブックに書いて記念撮影するもの。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㉔ 8 月 28 日、各分野で活躍する 3 人が、「ダンス」をテーマに語る「ダンス・ラボ」

ダンス・ダンス・ダンス"」が開催された。場所は旧軽井沢銀座の複合施設、チャーチストリート内の「軽井沢 Veranda」。アートディレクターの榎本了壺さん、舞踊史研究家の芳賀直子さん、精神科医の香山リカさんが出演。日本のバレエ史や、それぞれの視点からダンスや身体について語られた。(軽井沢ヴィネット オンライン)

㊤ 8月3日、軽井沢町とウィスラー市(カナダ)の姉妹都市提携20周年を記念する式典が、湯川ふるさと公園で開かれた。ウィスラー市のジャック・クロンプトン市長も出席し、友好の証として公園に設置されたカナダ伝統の石像「イヌクシュク」の除幕や、両市町の間係をより深めることを記した覚書の調印などがあった。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2020年

2020年は、こんな年だった。時事ドットコム 5大ニュース

- ① 新型コロナ猛威、初の緊急事態宣言
- ② 東京五輪、1年延期
- ③ 安倍首相が退陣、後任に菅氏
- ④ 九州で豪雨、死者多数
- ⑤ 将棋棋士の藤井聡太さんが史上最年少タイトル二冠達成

⇒2020年の芸術、文化トレンドのトピックス

- ① 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール(軽井沢ニュース)

a. 8月15日、軽井沢大賀 CLASSIC 2020。反田恭平ピアノリサイタル、ピアノ界トップランナーが贈る情熱のショパン。

b. 8月23日、【無観客ライブ配信】 The stage Gathering。バレエや音楽のアーティストが集うザ・ステージ・ギャザリング。一般非公開です。無観客で配信のみを行うため、当日はご来館いただいてもご入場いただけません。

c. 9月19日、合唱団「四季」落葉松コンサート～涼秋の軽井沢で、日本の名曲をしっかりと～友清和親(指揮) 女声合唱団「四季」、1971、年埼玉県上尾市で声楽科の友清和親が結成。92年、第15回全国おかあさんコーラス大会でグランプリを獲得した。

② 7月23日、軽井沢プリンスホテルウエスト MICE 新施設、レストラン棟を開業。西武グループは、人々が安全に集い、末永いコミュニケーションが継続できる交流の起点となることを目的として、MICE 専用のエントランス、ロビー、ラウンジの3施設を新設しました。(軽井沢ニュース)

③ 8月26日、軽井沢草花交流会参加者募集。軽井沢の草花紹介や育て方の情報交換をしましょう。(軽井沢ニュース)

④ プリンズスキー場に、アクティビティーエリアオープン。軽井沢プリンスホテルスキー場敷地内のアクティビティーパーク「軽井沢の森」のウエストエリアに、「軽井沢あそびの森」が7月23日にオープンした。ネットの中で飛んだり跳ねたりして遊ぶ「ネットアドベンチャー くものす」や、迷路などのアクティビティーがあり、多くの子どもや家族を楽しませている。「三世代ファミリーで楽しめるエリア。夏の思い出作りに来てほしい」と同スキー場スーパーバイザーの中西剛さん。軽井沢の森はゲレンデ、イースト、ウエストの3つのエリアで構成され、ジップラインアドベンチャーや木の上

を歩くツリートレッキングなどがある。(軽井沢新聞)

⑤ スイーツ作って夏の思い出に レシピ紹介のパンフ、小学生へ。春と秋にスイーツ巡りのイベントを行っている「軽井沢スイーツ散歩実行委員会」が、スイーツのレシピを載せたパンフレットを作り、町内の小学生に配布した。新型コロナの影響で旅行やイベントが制限される中、「少しでも楽しい夏休みを過ごしてほしい」と企画。レシピは万平ホテルのパティシエが監修し、初級「カルピスプリン」、中級「ヨーグルトムース」の2つを紹介している。(軽井沢新聞)

⑥ 高原文庫で立原道造の企画展 初公開の貴重な資料も。 建築家で詩人の立原道造に関する企画展が、軽井沢高原文庫で 10 月 27 日まで開かれている。立原道造記念館(2011 年閉館)の支援団体、立原道造記念会と同会会長の宮本則子さんから寄贈をうけた資料約 1000 点の中から、約 250 を展示している。詩集「暁と夕の詩」の特装本や、堀辰雄や室生犀星ら約 20 人が記帳した立原道造一周忌の寄せ書きなど、初めて一般公開される資料など、貴重なものが多い。(軽井沢新聞)

⑦ 大賀ホール初の無観客生配信で 新しい表現の場を模索。新型コロナウィルスの影響で、コンサートや公演の中止・延期が相次いでいる中、新しい表現の場を探そうと、無観客のライブ配信による生演奏とダンスのコラボ公演「The Stage Gathering」が大賀ホールで行われる。企画しているのは町内でバレエ指導を行っている早川真紀さん。大賀ホールでは初めての無観客ライブ配信公演となる。(軽井沢新聞)

⑧ 軽井沢プリンスホテルウエスト MICE 施設とレストラン棟、新設。軽井沢プリンスホテルウエストは 7 月 23 日、国際会議や大規模イベントなど MICE に対応する新施設と、レストラン棟をオープンした。MICE 利用者専用のエントランスとロビー、セミナーや研修の休憩時間やアフターパーティーに使用するバンケットテラスを新設した。レストラン棟 2 階は、地元食材を中心とした、和洋中の料理を提供するレストラン「プリムローズ」。(軽井沢新聞)

⑨ 軽井沢町の追分公民館を拠点に活動している写真サークル「軽井沢追分写遊会」は、9 月 2 日まで、軽井沢千住博美術館ギャラリーで写真展を開催した。雲場池の紅葉や、追分の夕空、埼玉県川越の写真など、町内外で撮影した会員 12 人の作品を 38 点展示された。(軽井沢ヴィネット オンライン)

⑩ 8 月 29 日、軽井沢町教育委員会は、保存に向け修理工事中の重要文化財・旧三笠ホテルを特別公した。貴重な文化建造物へ理解を深めてもらうのが目的。当日は、修理に関わる文化財建造物保存技術協会の専門家が館内を案内した。(軽井沢ヴィネット オンライン)

■2021 年

2021 年は、こんな年だった。時事ドットコム 5 大ニュース

- ① 東京五輪・パラ、1 年延期で開催
- ② コロナ長期化、進むワクチン接種
- ③ 菅首相 1 年で退陣、後継は岸田氏
- ④ 衆院選で自民絶対安定多数
- ⑤ 熱海市で土石流、死者・不明 27 人

⇒2021年の芸術、文化トレンドのトピックス

① 軽井沢大賀ホールコンサートスケジュール（軽井沢ニュース）

- a. 8月21日、軽井沢国際合唱フェスティバル。公募合唱団による人数制限なしの合唱コンテスト。
- b. 8月22日、第7回日本国際合唱作曲コンクール入選作品演奏会。新たな合唱レパートリーの創作による合唱音楽の振興を目的に2015年より開催されている合唱作品に特化した国際作曲コンクール。今年はこれまでの最多全36カ国137作品の応募の中から選ばれた入賞作品を初演奏します。
- c. 8月25日、軽井沢大賀ホール主催公演、金子三勇士、ピアノリサイタル。
- d. 8月27日、藤原歌劇団トップアーティストが贈るサマー・コンサート in 軽井沢。
- e. 8月28日、辻井伸行×三浦文彰、アンサンブル金沢 特別講演。辻井伸行、ベートーヴェンの傑作協奏曲を初披露。
- f. 8月29日、来生たかお 45th Anniversary Concert Tout 2021
- g. 9月5日、軽井沢国際音楽祭 2021 フェスティバル・オーケストラ・コンサート
- h. 9月6日、軽井沢国際音楽祭 2021 Happy JAZZ Hour

② 軽井沢ゆかりのフランス人浮世絵師ジャックレー展 国内初、全作品162点を公開。8月1日から軽井沢町追分宿郷土館で「軽井沢を愛したフランス人浮世絵師ポール・ジャックレー全木版画展」が開催されている。ジャックレーは1944年から16年間、軽井沢にアトリエを構え制作していた。世界的にもファンの多い浮世絵師で、全木版画作品162点を公開するのは日本で初めて。（軽井沢ヴィネット オンライン）

③ 軽井沢観光協会と観光ガイドの会、川端康成別荘の保存を町長に要望した。（軽井沢ヴィネット オンライン）

④ 軽井沢ゆかりのフランス人浮世絵師ジャックレー展、日本初、全162点を公開。ジャックレーは1944年から16年間、軽井沢にアトリエを構え制作していた。世界的にもファンの多い浮世絵師で、全木版画作品162点を公開するのは日本で初めて。（軽井沢新聞）

⑤ 堀辰雄の耳にした調べ、現代に80年前の堀愛用の蓄音機を修復。（軽井沢新聞）